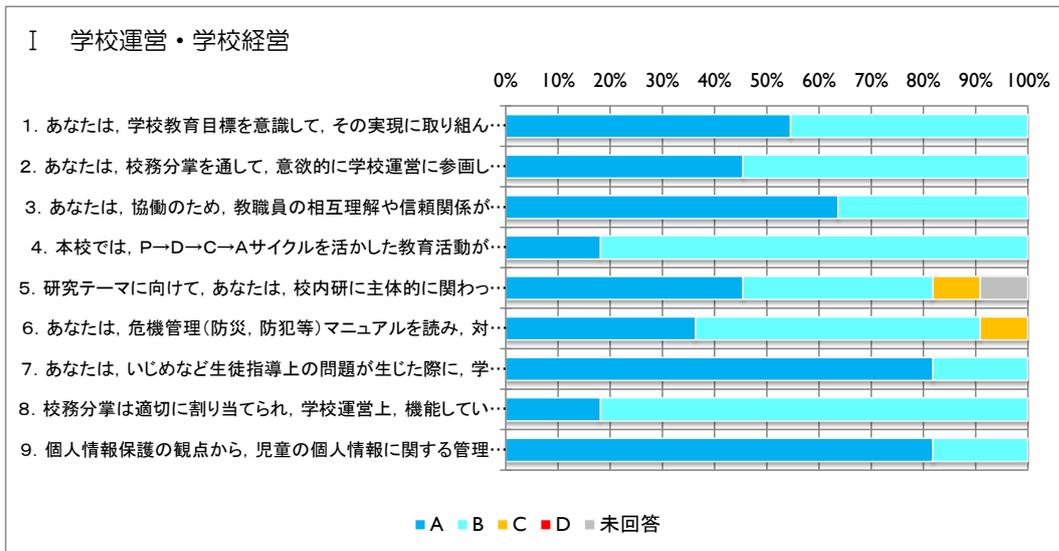


令和6年度芦安小学校（前期）学校評価「教職員自己評価」の結果と考察について

評価基準	A：そう思う	B：ややそう思う	C：ややそう思わない	D：そう思わない	1.1名回答
評価点数	A：4点	B：3点	C：2点	D：1点	

I 学校運営・学校経営

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	R4評価
1. あなたは、学校教育目標を意識して、その実現に取り組んでいる。	6	5	0	0	0	3.5	3.4
2. あなたは、校務分掌を通して、意欲的に学校運営に参画している。	5	6	0	0	0	3.5	3.4
3. あなたは、協働のため、教職員の相互理解や信頼関係が深まるよう努めている。	7	4	0	0	0	3.6	3.6
4. 本校では、P→D→C→Aサイクルを活かした教育活動が取り組まれている。	2	9	0	0	0	3.2	3.3
5. 研究テーマに向けて、あなたは、校内研に主体的に関わっている。	5	4	1	0	1	3.4	3.5
6. あなたは、危機管理（防災、防犯等）マニュアルを読み、対応について理解している。	4	6	1	0	0	3.3	3.2
7. あなたは、いじめなど生徒指導上の問題が生じた際に、学校全体で組織的に対応する体制が整備されていると思う。	9	2	0	0	0	3.8	3.8
8. 校務分掌は適切に割り当てられ、学校運営上、機能している。	2	9	0	0	0	3.2	2.9
9. 個人情報保護の観点から、児童の個人情報に関する管理システムが確立している。	9	2	0	0	0	3.8	3.9



○自由記述

8.少人数で、他の学校と同じだけの校務分掌を回していかなければならないので、一人一人の負担は大きいと感じている。

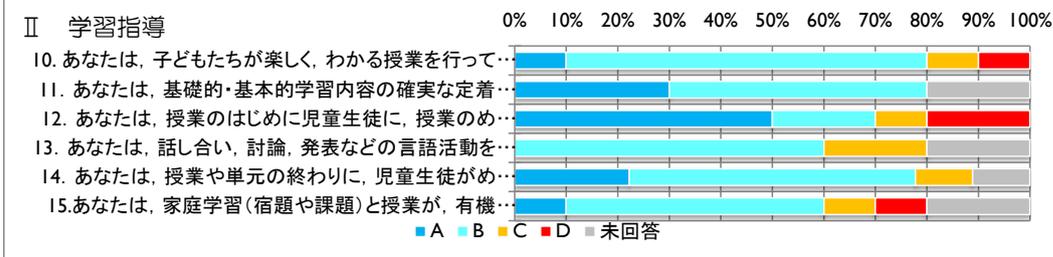
○自己評価（達成状況・改善策）

7.いじめなどの生活指導上の問題が生じた際についての項目では、学校全体で取り組む体制づくりが構築されていることがアンケート結果から分かる。職員間の共通理解がとりやすいという小規模校の利点を活かしながら、今後も児童理解及び早期発見・早期対応に努めていきたい。

8「校務分掌の割り当て」については、小規模校の課題であるが、「会議や出張の負担軽減」など働き方改革と合わせて進めていく必要がある。また、校務分掌の必要性を検討していく必要があると考える。

Ⅱ 学習指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	R4評 価
10. あなたは、子どもたちが楽しく、わかる授業を行っている。	1	7	1	1	0	2.8	3.3
11. あなたは、基礎的・基本的学習内容の確実な定着に努めている。(児Ⅱ-7・保Ⅱ-12)	3	5	0	0	2	3.4	3.5
12. あなたは、授業のはじめに児童生徒に、授業のめあて(目標)を示している。	5	2	1	2	0	3.0	3.7
13. あなたは、話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れた指導を行っている。(児Ⅱ-8・9)	0	6	2	0	2	2.8	3.5
14. あなたは、授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて(目標)を達しているかを確認する「振り返り」の過程を設けている。	2	5	1	0	1	3.1	3.2
15. あなたは、家庭学習(宿題や課題)と授業が、有機的に結びつく指導を行っている。(児Ⅱ-10 保Ⅱ-13)	1	5	1	1	2	2.8	3.8



○自由記述

10.限られた教科を担当しているだけですが、その範囲内では、子どもたちの「知・技」や「思・判・表」が徐々に向上している手ごたえがあります。特に「学びに向かう力」については、著しく伸びた子もいて、少し安堵しています。

11.限られた教科を担当しているだけですが、基礎感覚・基礎技能の「身体の耕し」を意図的に設定してきた成果として、「できること」が増えてきました。

12. 必ずしも、板書したり、紙に書いたりさせているわけではありませんが、あらかじめ学習カードで「自己のめあて」を各自で設定させたり、授業冒頭において意識化させたりしています。大切なことは形ではなく、各児童が「全体の課題」と「自己のめあて」を自覚できているかどうかではないかと考えます。

13.教科の性質上、言語活動を取り入れることが必ずしも適切でない場合があり、今学期はあまり導入できませんでした。来学期以降、児童の実態を加味しながら徐々に導入していきます。

14.振り返りは大切です。全体の課題にせよ、個別のめあてにせよ、簡単でもよいから振り返らせることは大切です。学習カードに「学習感想」などを書かせることもしています。

○自己評価 (達成状況・改善策)

○全体的に2年前よりも評価は低くなっているが、子どもが楽しみながらわかる授業に努めている教職員は、8割いる。今後も子ども主体の「楽しく・分かりやすい」授業ができるように努めていきたい。

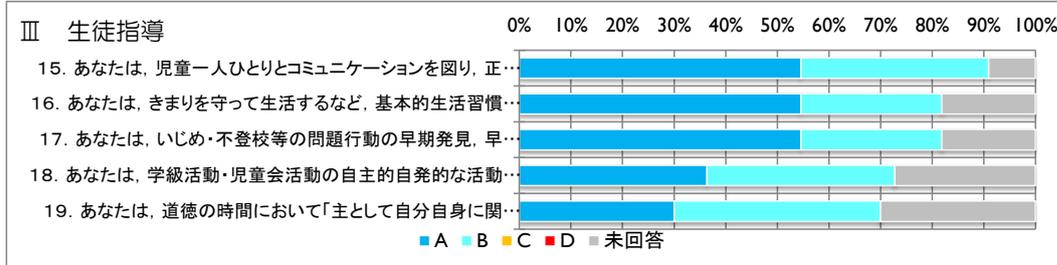
●授業の最初に「めあて」を提示すること、授業の終わりに「振り返り」をすることの項目の評価が下がっている。今後「山梨スタンダード」を意識した授業改善が進め、学習の定着を確実なものにしていきたい。

●各家庭でも宿題についてはよく協力していただいているため、児童の家庭学習の成果があがっていると思う。しかし、児童・保護者のアンケートからもわかるように、宿題以外の学習についてはできていない児童が多い。学習習慣を身に付けさせるために、学習方法等についても丁寧に伝えていく必要がある。また、家庭学習(宿題や課題)と授業が、有機的に結びつく指導を行い、家庭学習(宿題や課題)をする意義を、児童に伝えながら、進めていく必要がある。

●「13. あなたは、話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れた指導を行っている。」の項目の評価が低い傾向にある。少人数で実施しにくいかもしれないが、学習指導要領にもあるように、話し合いや討論などの言語活動を取り入れ、児童が、自分の意見を伝えたり、友達の意見を聞いたりし「対話」をしながら、学びを深めていく必要があるのではないかと。

Ⅲ 生徒指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	R4評価
15. あなたは、児童一人ひとりとコミュニケーションを図り、正しい児童理解や共感的理解に努めている。	6	4	0	0	1	3.6	3.7
16. あなたは、きまりを守って生活するなど、基本的な生活習慣を身につけさせるように努力している。	6	3	0	0	2	3.7	3.7
17. あなたは、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応を行っている。	6	3	0	0	2	3.7	3.9
18. あなたは、学級活動・児童会活動の自主的自発的な活動を促し、児童の「心の居場所づくり」となる学校、学級づくりに努めている。	4	4	0	0	3	3.5	3.4
19. あなたは、道徳の時間において「主として自分自身に関すること」を重点的に扱っている。	3	4	0	0	3	3.4	3.4



○自由記述

16.「当たり前十か条」を褒める材料として、全校で大切にしていきたいと思います。
 17.ケースバイケースの事案なので、普段の自己研鑽が必要です。チーム学校としての取り組みが必要です。「特別支援教育（合理的配慮も含む）・いじめ対策・不登校対策」は、オーダーメイドです。自分の知見を常に疑い、磨いていく必要があります。

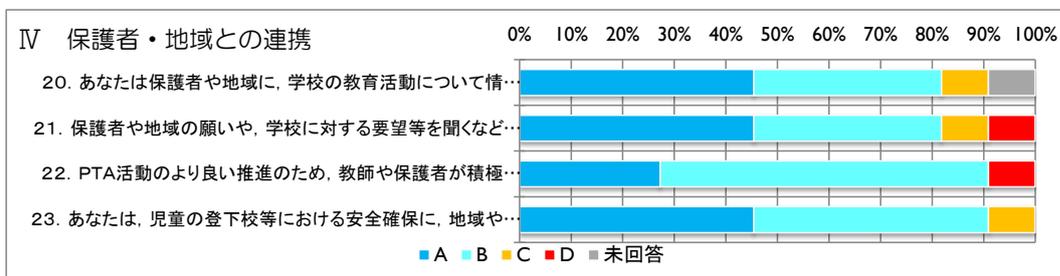
○自己評価（達成状況・改善策）

○すべての項目で肯定的評価が多い。特に「17. あなたは、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応」については、SSWやSCなど専門家との連携をはかりつつ、問題の早期発見・早期対応を行ってきた。具体的には、個々の児童についてケース会議を開き、SCから教職員がコンサルテーションを受け、対応を検討し、共通理解を図りチームで対応することができた。また、小規模校の利点を活かしながら、全校児童に多くの職員が声をかけながら、それぞれの児童のよさを認めていく雰囲気がある。

●「19.道徳の授業」における「自分自身に関すること」については、内容的に難しい部分があるが、学習する価値項目を常に自分自身の生活に関連付けて考えるよう、子どもたちに伝えていくことが大切になる。

IV 保護者・地域との連携

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	R4評価
20. あなたは保護者や地域に、学校の教育活動について情報の提供・公開を行っている。	5	4	1	0	1	3.4	3.6
21. 保護者や地域の願いや、学校に対する要望等を聞くなどの機会や工夫をし、情報の収集に努めている。	5	4	1	1	0	3.2	3.6
22. PTA活動のより良い推進のため、教師や保護者が積極的に関わるよう努めている。	3	7	0	1	0	3.1	3.2
23. あなたは、児童の登下校等における安全確保に、地域や保護者とともに積極的に関わるよう努めている。	5	5	1	0	0	3.4	3.3



○自由記述

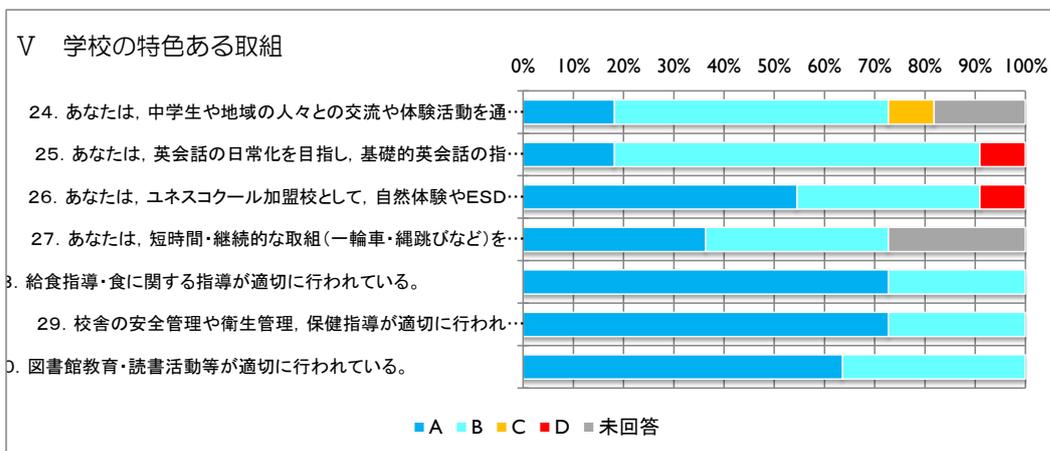
20.学校だよりやホームページでの発信を心掛けている。

○自己評価（達成状況・改善策）

○保護者や地域の方々への情報提供は、学校だより・学年通信はもちろん、ホームページで公開し、以前に増して行っている。今後、PTA行事などの機会を活かして、保護者・地域との連携をとっていきたい。

V 学校の特徴ある取組

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	評価	R4評価
24. あなたは、中学生や地域の人々との交流や体験活動を通して、子供たちの豊かな人間性をはぐくんでいる。(児I-5 保I-5)	2	6	1	0	2	3.1	3.4
25. あなたは、英会話の日常化を目指し、基礎的英会話の指導法の工夫とコミュニケーション能力の育成を図っている。	2	8	0	1	0	3.0	3.1
26. あなたは、ユネスコスクール加盟校として、自然体験やESDへの取り組みを進めている。	6	4	0	1	0	3.4	3.3
27. あなたは、短時間・継続的な取組(一輪車・縄跳びなど)をおとして基礎体力・運動能力の向上と運動の日常化を図っている。	4	4	0	0	3	3.5	3.1
28. 給食指導・食に関する指導が適切に行われている。	8	3	0	0	0	3.7	3.8
29. 校舎の安全管理や衛生管理、保健指導が適切に行われている。(児IV-21 保I-9)	8	3	0	0	0	3.7	3.9
30. 図書館教育・読書活動等が適切に行われている。	7	4	0	0	0	3.6	4.0



○自由記述

24.豊かな人間性といわれると、可測性に疑問が残ります。判断が難しいですね。
 25.外国語部会の一員として、ある程度積極的に関わっています。同じ部会の先生方の積極的・意欲的な取組に感謝しております。
 26.本校の特色ある活動ですね。芦安小にいたので学びを深めるチャンスですね。
 27.一輪車の取組で特に一年生や転入生の向上が見られ、嬉しく思っています。低学年の「長縄跳び」を継続的にしていますが、伸びています。
 28.先生方も児童と共に「師弟同行」してくださっている姿勢に感謝です。

○自己評価 (達成状況・改善策)

○「28. 給食指導・食に関する指導が適切に行われている。」「29. 校舎の安全管理や衛生管理、保健指導が適切に行われている。」「30. 図書館教育・読書活動」については、全職員が肯定的評価をつけている。どちらも、養護教諭・司書が積極的に全校に働きかけ、その成果を感じることができている。今後も継続していきたい。
 ○「25. 基礎的な英会話の指導」については、イングリッシュゲームや英語での朝の会など、児童が英語にふれる機会が多く、英語への興味関心も高い。今後は活動に少しずつ変化を加え、児童の英語への興味関心をさらに高めていきたい。

Ⅵ その他（自由記述）

- 教職員同士でコミュニケーションを密にとり、児童の実態把握を全校規模で行うことができしており、それぞれが全校児童の担任であるという意識のもと指導がなされている。
- 管理職の先生、教務主任の先生に些細なことも何でも相談し、いつも助けていただいています。これからも声を掛け合い、信頼関係を築きながら、仕事をしていきたいと思ひます。
- 昨年度から、多くの部分で本校の教育活動を「精選・スリム化」しています。今後さらに改善していけるところがあると思ひます。先生方からのご意見・ご提案も随時承ります。